

第48回症例検討会 case69

2025.7.14（月） 20:00～

「慢性前立腺炎に対する鍼灸治療の一症例」

一齊堂 東豪

患者情報①

患者 50代 男性 180cm 77.5kg BMI 23.92

主訴 下腹部、坐骨周辺の鈍痛、排尿痛

診断名 慢性前立腺炎

検査 腹部エコー MRI 尿検査

医療機関 三カ月に一回、近隣の泌尿器科へ受診

患者情報②

既往歴 X-30年頃 尿管結石 X-20年頃 背中の粉瘤の摘出

X-2年～現在 逆流性食道炎

家族歴 父 心筋梗塞 母 ガン

嗜好品 アルコールはなし コーヒーはミルク入り

性格 緊張しやすく、先々の事を心配する（本人談）

増悪因子 長時間の座位 精神緊張 寒冷刺激 中腰になる動作

寛解因子 初診時～33診察目まではなし 以降は、仕事をしていない時

患者情報③

生活環境

ご夫婦で二人暮らし。同じマンションの別の階に長男夫婦と2才のお孫さんが暮らしている。週に何回かお孫さんが遊びに来るご様子。

40年間、時計修理の職人として長時間の座り仕事。日に10時間以上座ることもある。

100年前の時計や今や生産されていない珍しい時計、大手企業で直せない時計など難問ばかりを扱うため、ご本人は知らず知らずに緊張が蓄積。様々な手段で道具や材料を工面し、日々、思考を凝らしている。

服薬情報① 泌尿器科

タダラフィル錠5mg 1錠1日1回

血管・尿道・前立腺・膀胱頸部の緊張緩和や血流の増加によって、排尿障害を改善。

タリージェ錠5mg 2錠1日2回

痛みを伝える神経の過剰な興奮をおさえ、神経障害による痛みをやわらげる。

ツムラ竜胆瀉肝湯7.5g 1日3回

排尿痛、残尿感、尿の濁り、こしけ。

服薬情報② 内科

ランソプラゾールOD錠15mg 1錠1日1回

胃内において胃酸分泌を抑え、胃潰瘍などを治療し逆流性食道炎に伴う痛みや胸やけなどを和らげる。

ロスバスタチン錠2.5mg 1錠1日1回

コレステロールの生合成に關与する酵素の働きをおさえ、血液中のコレステロールの量を減らす働き。

アムロジピン錠5mg 1錠1日1回

血管や心臓の筋肉を収縮させるカルシウムの働きをおさえ、血管を広げて血圧を下げる。

ミヤBM3錠 3錠1日3回

お腹のはりや下痢の症状を改善。腸内菌のバランスを整え、腸の働きを整える。

ツムラ六君子湯5g 1日2回

胃痛、嘔吐、消化不良、食欲不振、胃アトニー、胃炎、胃下垂。

慢性前立腺炎とは

前立腺に慢性的な炎症が起こる病気で、膀胱の下にあり、尿道を取り囲むように存在している。

慢性前立腺炎の原因は明らかになっていませんが、細菌感染やストレス、自己免疫反応など、要因は多岐にわたると考えられており、**原因の鑑別が困難**であることも少なくありません。

主な症状は、**鼠径部**や**会陰部**（肛門と陰囊の間の部分）、**臀部**などの**違和感や痛み**、**頻尿**や**残尿感**、**射精時の痛み**などです。

現病歴①

X年3月頃 発症時の様子

排尿しずらくなり、**排尿痛**もある。

下腹部と坐骨周辺に鈍痛を感じる。

痛みの程度は、ぎっくり腰のような強い痛みではない。

しかし、いつも地味で嫌な痛みを感じるので気分が落ち込む。

逃れようのない継続した痛みに、精神的に参ってしまった。

現病歴②」

X年4月 泌尿器科へ受診

X-30年頃に尿管結石で受診した泌尿器科が閉院。

新しくできた近隣の泌尿器科を受診して

腹部エコー、尿検査、MRIなどの検査で**慢性前立腺炎**との診断。

タダラフィル錠、タリージュ錠、ツムラ竜胆瀉肝湯を処方。

現病歴③

X年7月中旬 鍼灸治療を勧められた

薬により**排尿も排尿痛も**楽になってきた。しかし、**下腹部・坐骨周辺の鈍痛は残存**している。

医師から「**慢性前立腺炎には鍼灸が有効である**」という論文が出ている。
どこの鍼灸院でも構わないので**鍼灸治療をすることが良いと勧められた**。

上記の理由で、同X年7月末にご自身で鍼灸院を検索し当院へ来院した。

初診時の東洋医学的情報①

寒熱 **冷える**と痛みが増悪

二便 大便：二日に1回で**硬め**で、**便秘気味** 小便：**夜間に2回**

睡眠 寝た気がしない

脾胃 **胸やけ**があり、**逆流性食道炎**との診断も

初診時の東洋医学的情報②

望診 面色：紅い 両手足：むくみ(+) 特に、手はほてり(+)

瞬きの回数が多い 右眼瞼の痙攣

脈診 脈状診：左が全体に滑脈：湿邪の反映か 左尺中がやや虚

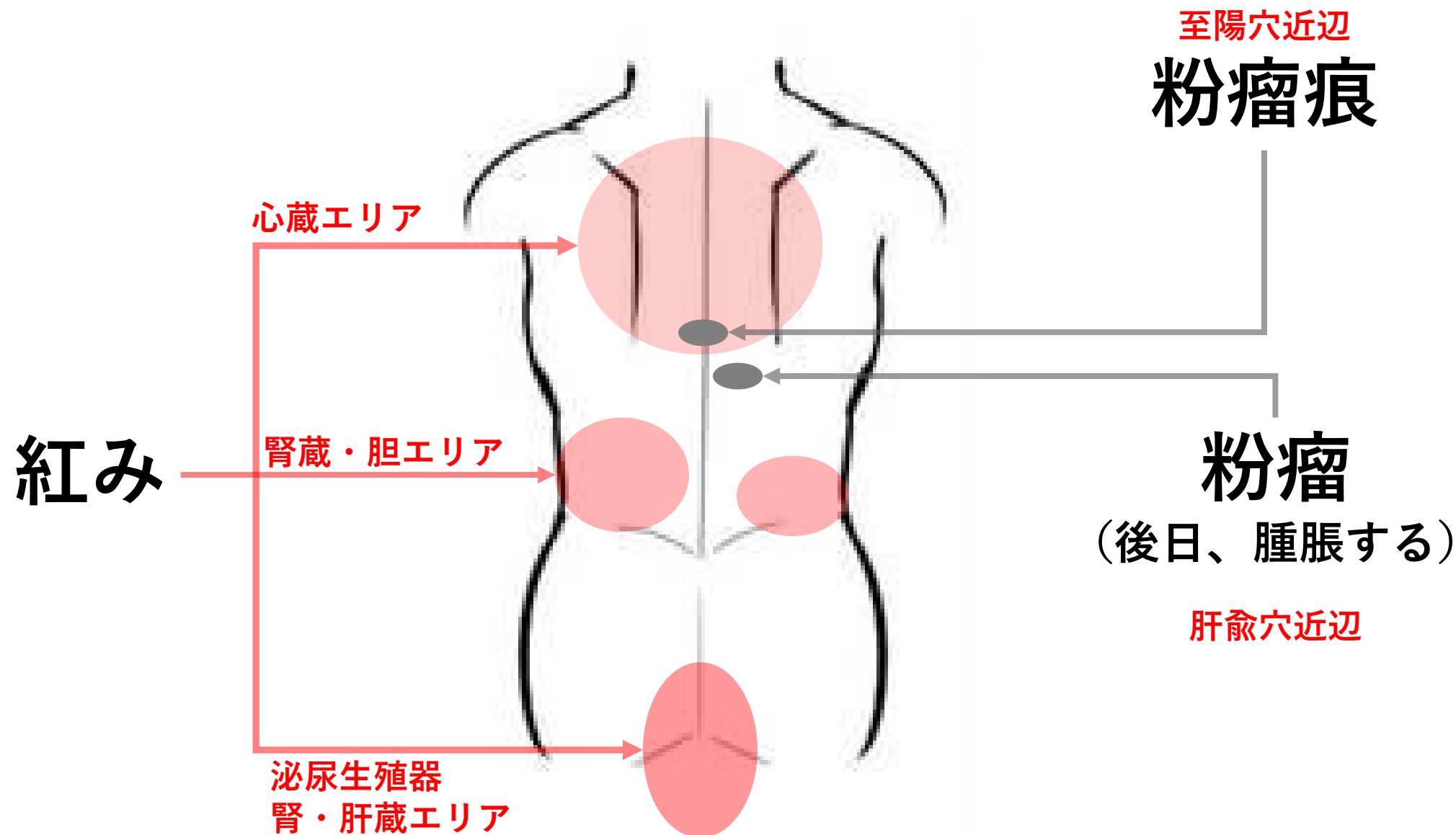
舌診 形：やや舌先が細い 色：紅色 舌苔：やや左に厚い

腹診 全体：冷え 下腹部：緊張・抵抗 左天枢：圧痛・硬結

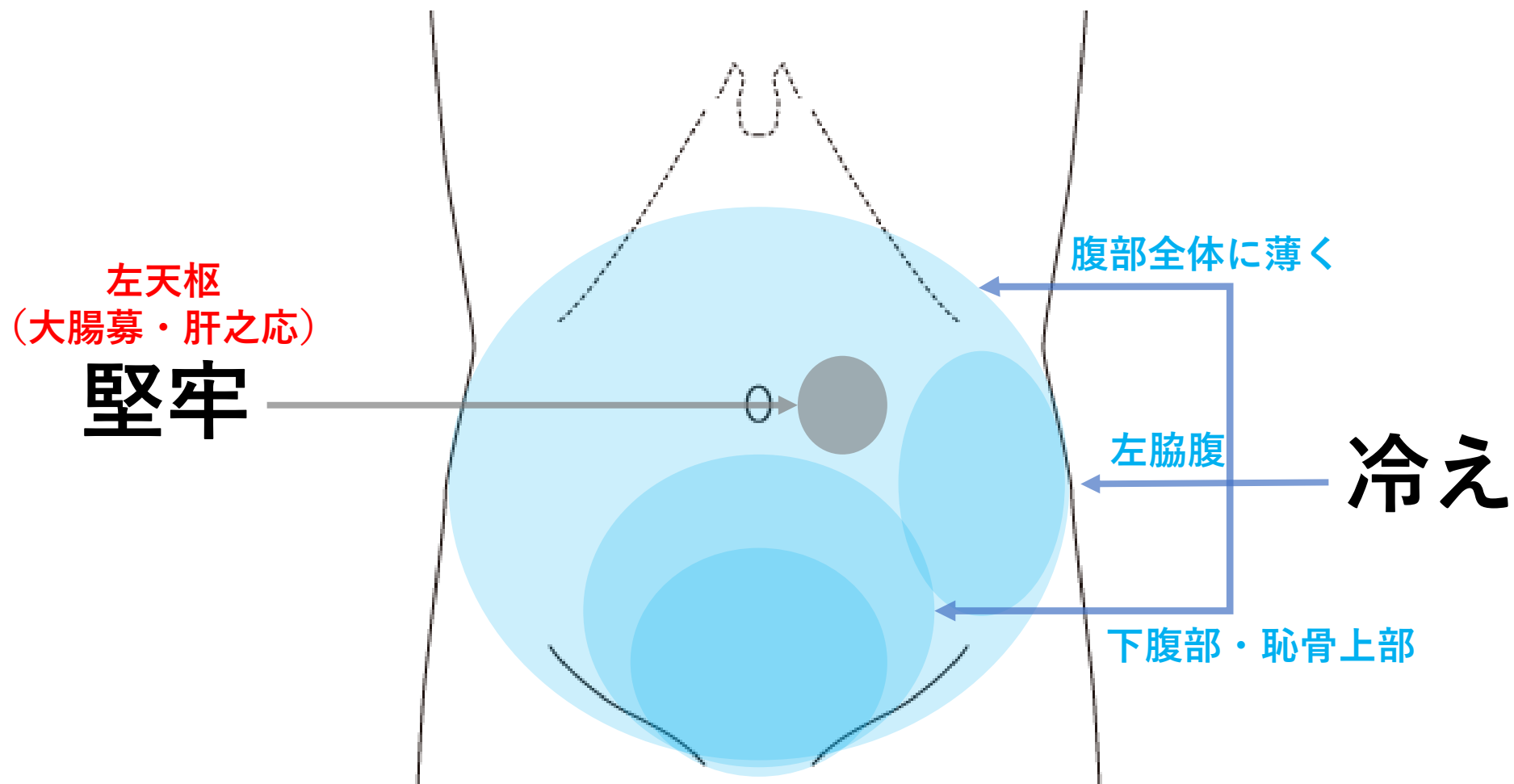
切診 左神門穴から小海穴下3寸あたりまでの範囲が弛緩（虚）

背候診では肩背・腰部外側・尾骨周辺が紅い

背候診の紅み



腹診の冷え



参考書籍

1. 編集部：コモンディジーズの注意治療－排尿障害－、中医臨床 180号 Vol.46
No.1、東洋学術出版社、千葉、2-3、2025
2. 佐藤卓也、他：慢性前立腺炎に対する鍼療法－内閉鎖筋アプローチ－、鍼灸
OSAKA 通巻69号 Vol.19 No.1、学校法人 森ノ宮医療学園 森ノ宮医療学
園出版部、大阪、40-45、2003

慢性前立腺炎と鍼灸に関する記事

神戸東洋研究会より参照【<https://kobeemf.com/post-58962/>】

1. Acupuncture relieves prostatitis symptoms in study. December 1, 2021

<https://www.health.harvard.edu/blog/acupuncture-relieves-prostatitis-symptoms-in-study-202112012652>

以下、引用

「ある男性にとっては、鍼はもう一つの治療法となりうる。2018年のレビュー研究では、鍼は慢性前立腺炎／慢性骨盤痛症候群の症状を薬物療法の副作用なしに減らすことを発見した。」

慢性前立腺炎と鍼灸に関する記事

神戸東洋研究会より参照 【<https://kobeemf.com/post-58962/>】

2. Non-pharmacological interventions for treating chronic prostatitis/chronic pelvic pain syndrome. Franco JV, et al. **Cochrane Database Syst Rev.** 2018 Jan 26;1:CD012551.

https://www.cochranelibrary.com/cdsr/doi/10.1002/14651858.CD012551.pub3/full?fbclid=IwZXh0bgNhZW0CMTAAYnJpZBExZnZDNmR5ZWZrQWdjZ3FLMQEelQWkfp1zUqnso55p89y_8Udj6ETn6nHzZYnLUr5sA5MCY3K9VeOMuR6Rv9I_aem_pENcKn6RjxbcAykmXYW3uQ

以下、引用

「1. 鍼は、短期間フォローアップで、偽の介入と比較して前立腺炎の症状をかなりの数で減らした。鍼では、結果として有害事象はほとんど無かった。鍼は、標準的なメディカルセラピーと比較しても、かなりの数の患者で慢性前立腺炎の症状を減少させた。」

慢性前立腺炎と鍼灸に関する記事

神戸東洋研究会より参照【<https://kobeemf.com/post-58962/>】

3. Efficacy of Acupuncture for Chronic Prostatitis/Chronic Pelvic Pain Syndrome A Randomized Trial

Yuanjie Sun, MD et al. Ann Intern Med . 2021 Aug 17

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/34399062/>

以下、引用

440人の男性患者に8週間20回の鍼治療と、治療後24週のフォローアップ。

「【結論】偽鍼と比較して、8週間20回の鍼治療は中程度から重度の慢性前立腺炎／慢性骨盤痛症候群に治療後24週も含めて著しい改善があった。」